




ロータリーは機会の扉を開く  
2020-21 年度 RI テーマ  
Rotary Opens Opportunities  
国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーウ

# Weekly Bulletin

30th anniversary

## 藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度  
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

**例 会 第 1 3 8 6 回： 通常例会/小杉苑**

**ソング 四つのテスト、たき火 : ソングリーダー 阿井誠君**

**原点回帰**

**■ 会長挨拶 松浦正秋君**



明日 10 月 24 日は、世界ポリオデーです。ポリオワクチンを発明したジョナス・ソーク博士の誕生日であり、ポリオ根絶に取り組む様々な団体の貢献を周知し、ポリオのない世界の実現に向け、さらなる支援を呼びかけるために制定されました。ポリオ（急性灰白髄炎）は、ウイルスによって引き起こされる感染力の強い疾患で、主に 5 歳未満の小児がかかります。感染者 200 人のうち 1 人に下肢の麻痺が起こり、麻痺を起こした患者の 5 ~ 10% は呼吸筋が機能しなくなり、死に至ります。ポリオには治療方法がなく、唯一できることは予防です。複数回ポリオワクチンを接種することで、小児の命を守ることができます。

1988 年感染者は 125 以上の国で約 35 万人がいたようです。WHO は、1994 年アメリカ大陸地域での撲滅を宣言したことに続き、2000 年に西太平洋地域で、2002 年にはヨーロッパ地域で、2014 年には、東南アジア地域、今年 8 月アフリカ地域での撲滅を宣言しました。発症例を 99.9% 減少することに成功し、現在はパキスタンとアフガニスタンの 2ヶ国のみと

なりました。患者数は、昨年 73 人でした。ポリオは、天然痘に次いで、人類史上 2 番目に根絶可能な病気といわれています。

1985 年国際ロータリーが、史上初かつ最大規模となる民間支援活動として「ポリオプラス」を開始しました。2009 年ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、ロータリーがポリオ撲滅に 2 億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに 3 億 5500 万ドルを提供しました。

様々な人たちがポリオ撲滅のため、行動しています。ポリオの根絶と新型コロナウイルスの感染収束を強く願った今週です。

**■ 幹事報告 鈴木健夫君**

ハイライトよねやまを回覧いたします。

**■ 出席報告 笠原大輔君**

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
38 / 51 74.5%	44 / 51 86.27%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 伊藤彰君 ○江崎君 ○佐野裕君 ○佐野博君
- 佐野芳君 ○樽井君 ○内藤君 ○早川君 ○村松章隆君
- 瀧脇君 ○山田君 ○渡邊博君 川口君

(2) メイクアップ者

- 漆畑雄一郎君 (藤枝) 樽井勉君 (藤枝)
- 山田壽久君 (静岡北)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
40	40	0	13

パーフェクト例会数 😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

## ■ スマイルBOX 笠原大輔君

- ・10月17日に、以前の事務局にありました倉庫の荷物の移動が、漆畑会員、桑原会員、鈴木幹事と私の4名で行いました。3名には、お手伝い頂きまして、助かりました。ありがとうございました。ちなみに新倉庫は、飯田電機様の倉庫の2階でございます。これで、渡邊芳隆年度のすべての幹事の職務を終わらせて頂きます。よろしくお祈りします。 森竹正晃君

スマイル累計額     **286,000円**

## ■ 会員卓話



### 渡辺哲朗君

うちのクラブは今から30年前にスタートしましたが、30年前の日本は、一般的には「バブル

が崩壊をしていた」といわれていますが、我々の業界、建設業界ではそんな実感はほとんどありませんでした。確かに株は下がっていましたが、实体经济はそれ程落ち込んでいませんで、1～2年経てばまた株も上がって、またバラ色の時代がやってくるだろうと思っていました。

しかし、中には不況が10年位は続くという人もいました。実際には「失われた20年」という言葉ができたように、不況が20年続くことになったわけです。我々建設業界でも30年前は国内の建設投資は80兆円ありましたが、20年後には半分の40兆円に激減してしまいました。不況がこんなに長くなるとは、当時は夢にも思いませんでした。

30年前の世界はどうかというと、一番大きな事件は、やはり「ソ連の崩壊」だと思います。その

2年位前からポーランドやハンガリーの東ヨーロッパ諸国で「民主化革命」が起こり、共産主義の国が次々と倒れました。またベルリンの壁が崩壊して東西ドイツが統一され、その後にソ連が崩壊しました。

ゴルバチョフが、ソ連の指導者になったのは、「ソ連崩壊」の5～6年前だと思います。当時ゴルバチョフが登場した時は、ソ連の指導者にしては、ずいぶん明るい開けた人だなあ、という印象がありました。今までのいかめしい顔をした指導者とは、かなり違うなという感じがしました。彼は「ペレストロイカ」などの政治改革を行って、結果的にソ連を崩壊させ、世界の冷戦に終止符をうつことになりました。

世界の歴史の中で、彼は大きな役割を果たしたと思います。

ロータリーのガバナーは立派な人が多いと思います。今までのガバナーの中で特に印象に残っているのは、25年位前の高橋堯昭さんという方で、先日の高杉さんのお話にも出てきましたが、「方言丸出し」の人でした。

高橋ガバナーはダルマ市で有名な富士の毘沙門天の住職で、吉原ロータリークラブのメンバーです。

今のガバナー訪問というのは、各クラブの例会でガバナーが30分卓話をして終わりますが、当時は例会の後に、ガバナーとクラブの役員との会議がありました。役員が全員出席するので、20人位はいたと思います。役員が一人ずつ自分の事業計画を発表して、それに対してガバナーが何かコメントをするという形式でやりとりするので、1時間半位かかります。

私も高橋ガバナーの時の会議に出ましたが、役員が自分の計画を発表すると、高橋ガバナーは、「えーじゃんかー、おみゃー、それで」と大体誰にでもそんなふうに応えていました。でっぴりとした身体で、なかなか貫録があって、おもしろいおっさんだと思いました。

当時のガバナーは、全てのクラブ訪問を、このような形でやっていたので、たいへんだったと思います。それがある時期から、ガバナーと役員との会議はなくなり、例会での30分の卓話だけになりました。またクラブ訪問も、クラブ単独から2～3のクラブが合同で行う形が増えていきましたので、昔に比べれば今のガバナーは随分楽になったと思います。

高橋ガバナーの「毘沙門天のダルマ市」は、群馬

の高崎のダルマ市、東京深大寺のダルマ市と並んで、「日本三大ダルマ市」の一つです。また静岡県  
の三大縁日というのがありまして、藤枝の清水山  
と浜松の鴨江観音、そして富士の毘沙門天が上げ  
られています。高橋ガバナーは昨年93歳でお亡  
くなりました。

私がクラブの会長をやったのは、14代目です  
から16年前です。その年はたまたまロータリーが  
誕生して、ちょうど百年目にあたりました。です  
のでロータリー百周年事業として、藤枝クラブと  
合同で祝賀会を行いました。

当時のうちのクラブのプログラムを見てみると、  
外部卓話が半分位ありました。藤枝市長や県会議  
員の佐野愛子さん、大学の先生、新聞社の支局長、  
会社の経営者、各種団体の代表者など、いろい  
ろな分野の方が登場しました。朝比奈さんがプロ  
グラムの委員長でしたので、随分ご苦勞をされた  
と思います。

この年だけでなく、それまでは会員卓話と外部  
卓話が半分位だったと思います。

今は、会員卓話が主流の例会になっていますが、  
クラブの予算的な事情もあります。もう少し外部  
卓話を増やしてもいいのではないかと思います。  
会長をやってみると1週間が短く感じました。会  
長は毎週例会で挨拶があるので、挨拶のネタを探  
すのに新聞等を読んで考えるわけですが、すぐに  
金曜日がきてしまいます。1週間が本当に短く感  
じました。しかし、今考えてみれば自分にとって、  
とてもいい勉強になったと思います。

また会長・幹事の時は、いろいろ忙しくて大変  
ですが、他のクラブの人達と交流することができますし、  
クラブの運営を自分達が仕切っているとい  
う気持ちも湧いてきますので、一番充実した時間  
を過ごすことができると思います。

会長・幹事が一番花の時だと思います。若い皆  
さんには、是非これから会長・幹事をめざして頑  
張って欲しいと思います。



#### 池ヶ谷勇君

今回の卓話で私の持参した自慢の品を紹介します。アメリカで1851年に軍用銃として大々的に売り出したピストルです。

1853年ペリーが横浜に来航した折、日本へのお土産の持参品の中に蒸気機関車、電信装置等と一緒に当時最新式の銃のこのコルトネイビー1851がありました。水戸藩ではこの銃をコピー製造しました。当時の日本に銃を加工する機械があったとは思えず、完璧な6連発ピストルを作り上げた鍛冶職人の技術力にはビックリです。物造り日本！そしてこの国産コルト1851は1860年の桜田門外の変で井伊大老暗殺に使用されました。この銃は現存しております。

その後アメリカでは1861年から1865年まで南北戦争があり60万人以上の死者を出して北軍の勝利で終結しました。ここでリンカーン大統領による奴隷解放が宣言されましたが今だ差別はなくなっていない。

アメリカは戦後大量に余った武器を日本に売りに来ました。その中の一つが今回私の求めた銃です。1851年という年号と100年後に自分の生まれた1951年という年号に運命的な出会いを感じ思わず購入しました。(だいたいの方は思い切らないと出来ない事や、買物には運命的だとか理由付けして背中を押してもらうものです。ハタから見るとバカみたいですけど・・・)

そんな訳で誰にも理解されない散財品ですが、ロータリーの仲間には誰か一人くらいはこの壮大な歴史的ロマンを感じ、理解してくれる人が居ると信じてこの素晴らしいコルトネイビー1851を紹介しました。ちなみにこの銃は325万円でした。やっぱり理解してもらうのは難しいかな？

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/6(金) 第1387回	会員卓話	理事会
11/13(金) 第1388回	公共イメージ	小杉苑
11/20(金) 第1389回	会員卓話	小杉苑
11/27(金) 第1390回	会員卓話	小杉苑



色は匂へど 散りぬるを  
我が世誰そ 常ならむ  
有為の奥山 今日超えて  
浅き夢見じ 酔ひもせず

弘法大師の作といわれているいろは歌です。  
ということでお題に沿いまして、紀伊山地の宗教  
都市「高野山」をご紹介します。

思い起こせば3年前の10月18日（水）～1  
9日（木）で、当時の江崎会長・桑原幹事・佐野  
さん・内山さんの5人で参詣して参りました。

壇上伽藍・奥の院・御廟、宿坊など見所はたく  
さんありますが、インターネットやガイド本に詳  
しく掲載されていますのでそちらに譲ることと  
いたします。

当日は朝6時前に藤枝駅を出発し、新大阪駅に  
8時過ぎに着き、御堂筋線で南海高野線の始発駅  
難波駅へ移動しました。難波駅も大きな駅で朝の  
ラッシュの時間帯と重なり人通りも多い中、ホー  
ム脇のベンチに等間隔で姿勢を正し、蓬萊の豚ま  
んとシュウマイのあの匂いを漂わせながら、お酒  
で身を清めました。

通り過ぎていく通勤客がジロジロ見ていきま  
したが、こちらも目をそらすことなく、いつてら  
っしゃいの微笑み返しをすると、気味悪がって足  
早に立ち去って行きました。

翌日は昼前に下山し、清めた体を元に戻すべく、  
鶴橋で肉食に興じ帰途につきました。

少々脱線気味のお話でしたが、「旅行はどこへ  
行くか」と同時に「誰と行くか」「どれだけ美味し  
いお酒が飲めるか」が英気を養うための大事な要  
素だと実感した2日間でした。

これからの紅葉シーズン、まだまだ外国人観光  
客が少ない中での、GoTo を利用した高野山はおす  
すめかもしれません。

